

ローマ字と英語を明示的に区別させる方法

～ローマ字は日本語の表記方法のひとつ～

「ローマ字は英語」と思ったままの子どもたちが、中学校以降も文字の読み書きに苦労している現状がある。松戸市では平成32年度から全小学校の低学年でジョリーフォニックス（以下、フォニックス）が導入されるにあたって、タイミングよく「ローマ字は英語ではない」ことを明示的に子どもたちに示し、頭の整理をさせたい。

本文書は、平成29年度に東部小学校の5・6年生に対して実施した、約15分間のプログラムを元に、「ローマ字の学習後にフォニックスを学習する場合」と「フォニックスの学習開始後にローマ字を学習する場合」に分けて記述する。なお、松戸市では英語との接続を考え、3年生の国語では訓令式ローマ字は教えずへボン式ローマ字を教えている。

ローマ字を学習した後にフォニックスを学ぶ場合：フォニックス学習前に実施する

1 写真を使った導入

- ・へボンさんの写真を見せる。「この男の人は誰かな？」（へボン式ローマ字を作ったへボンさん）

2 ローマ字の復習

- ・ローマ字は母音を表すアルファベット(aiueo)と子音を表すアルファベットの組合せで表記する。
(子どもたちと確認しながら、下記表をへボン式ローマ字で埋めていく。)

子音 \ 母音	a	i	u	e	o
k					
s					
t					

- ・日本語は、母音だけか、子音+母音で1つの音になる。
- ・平仮名、片仮名は、1つの文字=1つの音。
- ・ローマ字は子音+母音で1つの音を表す。
日本語にはk, s, t等、子音だけの音はない。また、音がないため該当する仮名もない。(例外は「ん」)

3 ローマ字とは

- ・3年生で学んだローマ字は、英語かどうかわからない。
- ・「ローマ字は英語ではない。」ということを明確に伝える。
- ・ローマ字は、英語と同じ文字（アルファベット）を使って、日本語をあらわす方法。
漢字や仮名を読み書きできない外国の人が、日本語の読み書きをするのを助けるもの。

4 仮名・漢字を読めない人のローマ字の発音

(板書) 原 はら ハラ (いずれも読めない。)

(板書) Hara

- ・アメリカ人は、自分の言葉である英語のように発音しようとして、こう読む、と r の音を英語の発音で Hara を読む。
- ・英語圏でない人は、英語のように発音せずに、自分の言語のように発音しようとする。例えばスペイン人であれば、スペイン語では h を発音しないため、ara と発音する。フランス人はフランス語のように h は発音せず、r はフランス語の発音をする。
- ・つまり、自分が話す言葉のルールで「ローマ字」で書かれたアルファベットを発音しようとするので、日本語の音のように発音してもらえない。しかし、漢字や仮名を全く読めないよりは、文字として認識できるし、発音も少し似た音のできるので便利である。
- ・例えば、私の名前の Okamoto は「オカモト」に近い音で発音してもらえるが、Sae は「サエ」とは発音してもらえない。大抵、「セイ」か「サイ」と呼ばれる。ローマ字で名前を書けば、日本語の音で発音してもらえらると思うかもしれないが、必ずしもそうではない。ローマ字は、あくまでも仮名・漢字を読めない人を助けるもの。

※下線部は、授業者の名前など日本語のように発音してもらえない人名を例として提示するとよい。

- ・ローマ字は、戦国時代はポルトガル語に準じて書いたポルトガル式ローマ字や、江戸時代はオランダ語に準じて書いたオランダ式ローマ字があったらしい。幕末にヘボンさんがアメリカからやってきた。アメリカ人は英語を話すので、英語の発音に準じて記述するヘボン式ローマ字を作った。
- ・ヘボン式ローマ字では、「チ」が ti ではなく chi であることを表で確認する。千葉は Tiba と Chiba のどちらが日本語の「チバ」の発音に近いか、英語の発音で Tiba と Chiba を読んで確認する。chiの方が「チ」に近いから、ヘボンさんは「チ」は chi と表すことにしたことがわかる。(松戸の「ツ」も同様。) ※子どもにとって身近な地名の中に、訓令式とヘボン式の違いがあるものがあれば使用するとよい。

5 まとめ

- ・ローマ字とは、アルファベットを使って日本語の音を表す仕組み。
日本語の音のように読んでももらえないが、似たような音で読めるように助けるもの。
- ・ローマ字は日本語であり、英語ではない。
- ・ローマ字と英語のつづりは全く別物。(フォニックスの指導へつなげる。)

フォニックス学習開始後にローマ字を学ぶ場合：ローマ字を学習する前に実施する

1 写真を使った導入

- ・ヘボンさんの写真を見せながら、「この男の人は誰かな？」と導入する。
- ・ヘボンさんは江戸時代の終わりにアメリカからやってきた。外国からやってきて日本語を読み書きできない人も、日本語の音を読んだり書いたりできるようにと、ヘボンさんが作ったのがヘボン式ローマ字。これからそのヘボン式ローマ字を学ぶ。

2 ローマ字とは

- ・ローマ字は、英語と同じ文字（アルファベット）を使って、日本語の音をあらわす方法。
漢字や仮名を読み書きできない外国の人が、日本語の読み書きをするのを助けるもの。

3 フォニックスのルールと異なる

- ・ローマ字は日本語の読み書きをアルファベットで表す方法なので、英語の読み書きに使うフォニックスで学んだ「文字と音の関係」とは異なる。(ローマ字の指導へつなげる。)

※子どもがローマ字をフォニックスのルールで読み書きすることが想定される。例えばローマ字の学習中に、愛：ai を「エイ」と発音したら、まずはフォニックスの定着をほめたとうえで、この場合の ai はローマ字なのでどのように発音すればよいか、と指導していくことが望まれる。



出典 : Wikipedia